

第42回全日本実業柔道個人選手権大会戦評  
(主に当連盟加盟チーム選手を中心)

女子48kg級

女子48kg級は再び世界一を目指す浅見（コマツ）が堂々復帰戦を飾った。

本大会初出場、世界選手権二連覇中の浅見八瑠奈（コマツ）は事実上の決勝戦ともいえる第3回戦での山岸絵美参段（三井住友海上火災保険）との接戦を旗判定で制し、濱口光式段（了徳寺学園）との準決勝戦では、終始攻め続けた末、終盤に崩上四方固で抑え込む。

準優勝の新人笠原（日体大柔友会）は、準決勝戦までの2試合を一本勝で勝利し、準決勝戦では、同じ新人の黒江優希参段（北関東総合警備保障）を延長戦の末、旗判定で降す。

準決勝戦第1試合

2 濱口 光 (了徳寺学園)	崩上四方固	○4 浅見 八瑠奈 (コマツ)
-------------------	-------	--------------------

準決勝戦第2試合

2 笠原 歩美④ (日体大柔友会)	(優勢勝) (ゴールデンスコア)	3 黒江 優希 (北関東総合警備保障)
----------------------	---------------------	------------------------

決勝戦

4 浅見 八瑠奈○ (コマツ)	合せ技	2 笠原 歩美 (日体大柔友会)
--------------------	-----	---------------------

浅見右組み、笠原左のケンカ組手。浅見は右小外刈から寝技で攻める。対する笠原は背負投で応戦するが、試合の主導権は浅見が握る。浅見は1分17秒に右小外掛で技ありを奪い、そのまま崩袈裟固で抑え込む。浅見は寝技中心の試合を組み立て、復帰戦を飾る。